

向陽中だより



本校生徒会キャラクター「ひま SUN」

第 9 号

令和 6 年 1 月 3 1 日

杉並区立向陽中学校

<教育目標> ◎ よく考える人 ○ 思いやりのある人 ○ たくましい人

道徳教育について

副校長 池田 和幸

先日、2年生、3年生の全クラスの道徳の授業をさせていただきました。どのクラスも意欲的で、鋭い発言が多く聞かれるなど、「向陽中には素晴らしい生徒がたくさんいる。」ということに改めて実感することができました。この1年、様々な場面で向陽中生活躍をたくさん見ることはできましたが、直接生徒と授業を通して、向陽中生一人一人の考えや思いを聞くことができたことは、とても貴重な機会となりました。日頃から道徳の授業の充実を図り、一人一人の生徒の思いを大切に、しっかりと考える授業を積み重ねてきた職員のこれまでの取組も大きいのだと感じました。

2学期の道徳授業地区公開講座でお話させていただいた内容に、「道徳教育が目指すものは、行動規範を教えるのではなく、存在の建設、人格の完成を目指していくことにある。」ということをお話させていただきました。一人の自己を確立していくために、生き方の指針を心の中に形作っていくことが、道徳教育の大きな目的です。例えば、校内で会った人に挨拶をするという行動をとった生徒の行動をとらえると、「挨拶をする」という行動は変わらないものの、その動機が「叱られる」や、「なんとなくしている」などの思いで行っている生徒と、「明るい学校にしたい」や「挨拶をすると気持ちいい」という思いでする生徒を比べると、そこには大きな差が存在します。道徳教育の要である道徳科の授業においては、望ましい行動について考えるのではなく、その動機や思いに着目し、どうしてそういった思いを大切にしたいと感じるのかなどについて、自分なりの考えをまとめていくことを大切にしています。「道徳の授業の問いには正解がない」と言われますが、生き方に正解がないように、一人一人の価値観は違って構いません。さらに言うならば、価値観の違いは尊重されなければなりません。答えは一人一人の心の中にあると言えるでしょう。現代の日本に生きる私たちは、個人の自由が尊重される社会に生きています。どのような生き方を選択したとしても、それは誰かに強制されるものではなく、個人の自由に任せられています。自由があるからこそ、自分が選択したことに対する結果に対して、思い通りにならなくとも受け止めなければならない大変さがありますが、自分の思いを実現させることができる素晴らしさがあります。

現在、3年生は進路選択に向けて追い込みの時期に入りました。先月、面接練習を行った際に3年生から様々な将来の夢を語ってくれました。このように自分で進学先を選択し、将来の夢に向かって努力ができるということは、個人の自由が保障されている現代社会に生きている証でもあります。進学先が決まり、自分の進路が確定するまで、不安な気持ちで過ごしている3年生も多いことだと思います。なかなか前向きな気持ちになれない人も多いかもしれませんが、自分の自由の証ととらえ、しっかりと向き合ってほしいと思います。3年生全員が頑張っていけるように、学校全体で応援していきたいと思っています。

第53回 東京都中学校道徳教育研究会 研究発表大会

本校を会場に開催されます。研究会を代表して他校の3人の先生が、2年生3クラスで研究授業を行います。指導方法など工夫して授業をしていただきますので、2年生は楽しんで授業を受けてほしいと思います。この機会を生かし、本校の道徳教育が一層充実していけるようにしていきたいと思います。保護者の方もご参観いただけますので、興味がある方はお越し下さい。

杉並区教育調査の結果

保護者評価	区全体	向陽中	比較
子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている	54.7%	49.7%	—
子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている	65.5%	62.6%	—
子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる	49.7%	58.3%	↗
学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	46.3%	46.0%	—
連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている	40.6%	39.3%	—
子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	64.7%	70.6%	↗
学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている	34.0%	29.4%	—
学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある	43.2%	49.7%	↗
学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している	62.8%	71.8%	↗
学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている	79.0%	91.4%	↑
学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている	43.9%	47.2%	—
子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている	35.0%	38.0%	—
学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている	27.8%	38.7%	↑
子どもは、学校生活を楽しんでいる	68.4%	65.0%	—
子どもは、通級指導教室・特別支援教室で学ぶことによって、学校生活全般への参加がしやすくなっている	62.2%	75.0%	↑
学校は、特別支援教育の現状や上級学校又は社会人の生活など、障害者に関する様々な情報を、保護者会や個人面談、進路説明会などの機会をとおして提供している	42.0%	25.0%	↓

学校運営協議会委員評価	区全体	向陽中	比較
子どもたちは、学ぶ楽しさを実感しながら、問いや課題を自分なりに立て、自分なりの方法で解決したり探究したりする力が育っている	76.3%	100.0%	↑
子どもたちは、違いを認め合って共に生きる大切さを実感しながら、それぞれの得意を生かしたり、苦手を補い合ったりする力が育っている	79.4%	66.7%	↓
教員は、全ての子どもが共に学ぶ中で自分らしく成長できるよう、それぞれの経験や専門性を生かし合っている	77.9%	100.0%	↑
学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	76.3%	100.0%	↑
児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちによって、その時々学びや生活の必要に応じ、選択的に活用されている	75.6%	100.0%	↑
学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている	49.6%	66.7%	↑
学校では、校長を中心に、教育目標や目標達成の基本方針、指導の重点について家庭・地域と協議し、子どもたちの思いや願いを尊重する教育課程を編成している	88.5%	100.0%	↑
学校では、授業や行事、学校生活の内容や進め方について、子どもたちが、学びや生活の主体であることを実感しながら、自分たちで考えたり教職員（学校関係者を含む）と話し合ったりしている	80.8%	100.0%	↑

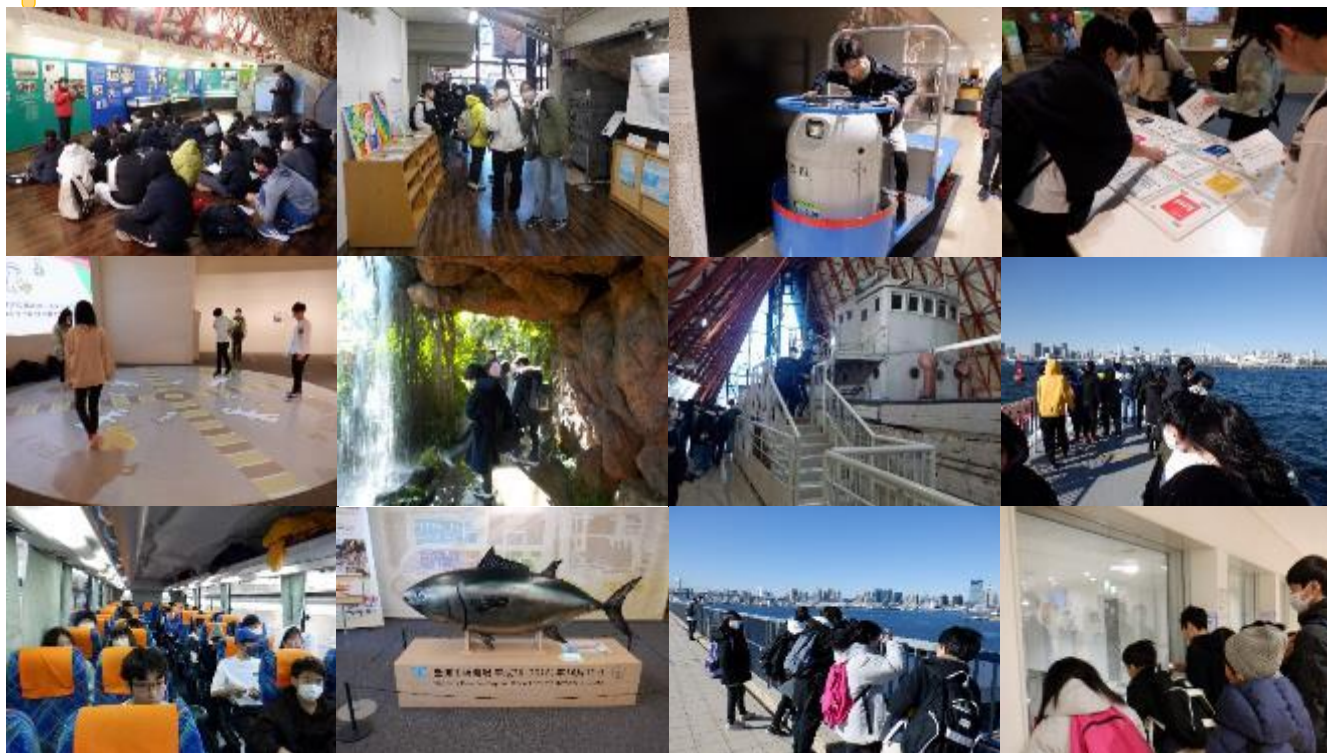
教員評価	区全体	向陽中	比較
授業では、普段の生活のことや社会での問題・話題になっていることを材料に学べるようにしている	75.8%	85.7%	↗
授業では、「授業を進めるのは、先生ではなく、児童・生徒である」と児童・生徒が感じられるようにしている	49.0%	28.6%	↓
授業では、児童・生徒が、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学べるようにしている	51.3%	71.4%	↑
授業では、児童・生徒が、挑戦や失敗を繰り返しながら、問いや課題の解決に取り組めるようにしている	77.5%	85.7%	↗
授業では、児童・生徒が、学習を進める方法やペースを自分で決めながら学べるようにしている	43.0%	28.6%	↓
授業では、児童・生徒一人ひとりの学びに合わせて、「わからない」を解決するための指導・支援をしている	69.5%	57.1%	↓
授業の中で出た意見や考えを、児童・生徒が自分の学びに生かせるようにしている	78.5%	100.0%	↑
授業では、児童・生徒が、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学べるようにしている	77.8%	71.4%	↘
学級の全体に関わることは、児童・生徒が自分たちで、全員の考えや気持ちを確認しながら決められるようにしている	72.8%	57.1%	↓
学校生活で児童・生徒が疑問に思ったことは、全校で話し合ったり、みんなで合意したりしながら変えられるようにしている	63.9%	42.9%	↓
学校の教育目標や目指す児童・生徒像、特色ある教育活動や教育課程などについて、学校評議会や学校運営協議会、学校関係者評価委員会で協議している	59.9%	14.3%	↓
児童・生徒が、自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	56.3%	57.1%	—
連携する小・中学校による小中一貫教育（各教科等において、義務教育9年間を見据えた一貫性のある学習指導計画の作成、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている	53.6%	42.9%	↓
教員である自分自身が身に付けたい資質・能力について、必要な学びが得られており、学び続けることができている	66.6%	42.9%	↓
子どもと向き合う時間が確保できている	45.4%	28.6%	↓
タイムマネジメントを意識して勤務できている	49.3%	42.9%	↘
勤務する学校は、働き方改革に意識的に取り組んでいる	41.7%	85.7%	↑
誇りややりがいをもって仕事を行うことができている	69.5%	71.4%	—
ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を送ることができている	36.1%	28.6%	↘
スクール・サポート・スタッフの活用が負担軽減につながっている	75.5%	42.9%	↓
児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちが学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	69.2%	42.9%	↓
学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫を行っている	43.0%	14.3%	↓
授業や行事、学校生活全般において、その内容や進め方を、児童・生徒が自らを学びの主体であると実感しながら、自分たちで考えたり教職員及び学校関係者と話し合ったりできるようにしている	61.6%	57.1%	—

区全体と向陽中の比較欄の記号について

向陽中が10%以上高い＝↑ 向陽中が5%以上高い＝↗ ±5%よりも小さい＝—
向陽中が10%以上低い＝↓ 向陽中が5%以上低い＝↘

杉並区の教育調査へのご協力ありがとうございました。学校運営協議会が実施したアンケートも含め、今年度の反省と次年度に向けて教育活動の見直しを行っております。今年度よりも充実した教育活動が実施できるように計画を進めていきたいと思っております。

1年校外学習



1月25日(木)1年生の校外学習を実施いたしました。豊洲市場や日本科学未来館などの東京の湾岸エリアの見学地を訪問し、各班のテーマに沿って学習を行いました。天候に恵まれ、欠席者も少なく、充実した1日になりました。これから事後学習を行って参ります。

生徒の活躍

第3ブロック バドミントン1年生大会 杉並区予選会 男子シングルス	1年	**	*
杉並区立中学校書き初め展覧会	1年	***	**
	1年	**	***
	2年	**	**
	2年	**	**
	3年	**	**
	3年	**	**
男子バレーボール1年生交流大会			準優勝
税の作文	杉並税務署長賞	3年	** *

2月の主な行事予定

2月 2日(金)	道徳研究発表大会(2年)	2月17日(土)	土曜授業
2月 5日(月)	全校朝礼 安全指導		新入生保護者説明会
2月 7日(水)	移動教室(2年)	2月19日(月)	生徒会朝礼
2月 8日(木)	移動教室(2年)		区特定課題調査(2年)
	区特定課題調査(1年)	2月21日(水)	都立一次・前期学力検査日
2月 9日(金)	移動教室(2年)		校内研修会
2月14日(水)	一斉委員会	2月27日(火)	第4回定期考査(理科・数学・保健体育)
2月16日(金)	ESAT-J(1・2年)	2月28日(水)	第4回定期考査(社会・国語・技術家庭)
	避難訓練	2月29日(木)	第4回定期考査(英語・美術・音楽)